

令和 6 年度

教 育 計 画

岡山県農林水産総合センター
農 業 大 学 校

Okayama Prefectural Technology Center
for Agriculture , Forestry and Fisheries

College of Agriculture

本 校 〒701-2223 赤磐市東窪田 157
(086) 955-0550
旭分校 〒709-3494 久米郡美咲町北 2272
(0867) 27-3321

目 次

1	教育の目標	1
2	教育の特色	1
3	教育（授業）の方法	1
4	教育体系	2
5	教育の内容	3
	(1)教育の進め方	3
	(2)教科別授業時間数	4
	(3)授業科目及び時間	5
	(4)年間授業計画（令和6年度）	10
	(5)専攻別演習・実習計画	16
	(6)総括学習	24
	(7)免許・資格の取得	26
6	学習評価基準	26
7	教育・寮生活日課表	27
8	先進農家留学研修実施要領	28
9	令和6年度応用技術研修等計画	29
10	令和6年度主要行事予定	30
11	実習施設配置図	31

この教育計画は、岡山県農林水産総合センター農業大学校校則（以下「校則」という。）第 19 条の規定により、岡山県農林水産総合センター農業大学校（以下「大学校」という。）において、大学校の学生が履修する授業科目及び授業時間数について定めるものである。

さらに、校則第 27 条第 2 項の規定により、大学校の学生、一般農業者及び新規就農者等を対象として、大学校で実施する研修講座についても定めるものである。

1 教育の目標

農業の実践教育を通して、将来の岡山県農業を担う青年農業者を育てるとともに、農業に関係する団体や企業等を支える多様な人材を育成する。

2 教育の特色

- (1) 農林水産総合センターの機能を最大限活用し、試験研究・普及と一体となった実践的技術教育を行う。
- (2) パソコンによる情報処理や各種資格等、社会から求められる知識と技術を身に付けるとともに、ICT 技術を活用したスマート農業やGAP 等これからの農業に必須となる先端技術について幅広い教育を行う。
- (3) 県内の農業普及指導センターや先進農家との連携を図り、先進農家留学研修を通して篤農家の技術を学ぶとともに実践的な経営感覚を醸成する。
- (4) 校内において自分自身で実際に栽培等を行うプロジェクト学習を実施し、授業や実習を通して実際の栽培管理技術や飼養管理技術、経営管理技術を習得する。
- (5) 寮生活により協調と自律の精神を養い、共同の生活感覚を身に付ける。
- (6) 担い手の育成を図るため、開かれた農業大学校として、一般農業者や新規就農者等を対象に研修講座を設け、トラクター運転技術、アーク溶接等の応用技術研修を行う。

3 教育（授業）の方法

期 間	教 科 内 容(授業形態)	場 所
1 学年 (4 月～12 月)	教養科目 (講義、実技) 共通専門科目(講義、実験、実習、演習) 専攻科目 (講義、実験、専攻実習)	本校
1 学年 (1 月～3 月) 2 学年 (4 月～12 月)	教養科目 (講義、実技) 共通専門科目(講義) 専攻科目 (講義、専攻実習) (プロジェクト学習)	本校(園芸課程) 分校及び本校 (畜産課程)
2 学年 (1 月～3 月)	共通専門科目(演習) 専攻(園芸課程共通)科目(講義)	本校

- ・ 1 学年 12 月まで：
全課程が本校で教養科目や共通専門科目を履修する。
専攻科目は専攻コース毎に履修する。
- ・ 1 学年 1 月から 2 学年 12 月まで：
園芸課程は本校、畜産課程は主に分校で履修する。
教養科目や共通専門科目については全課程が本校で履修する。
- ・ 2 学年 1 月以降：
全課程が本校で履修する。

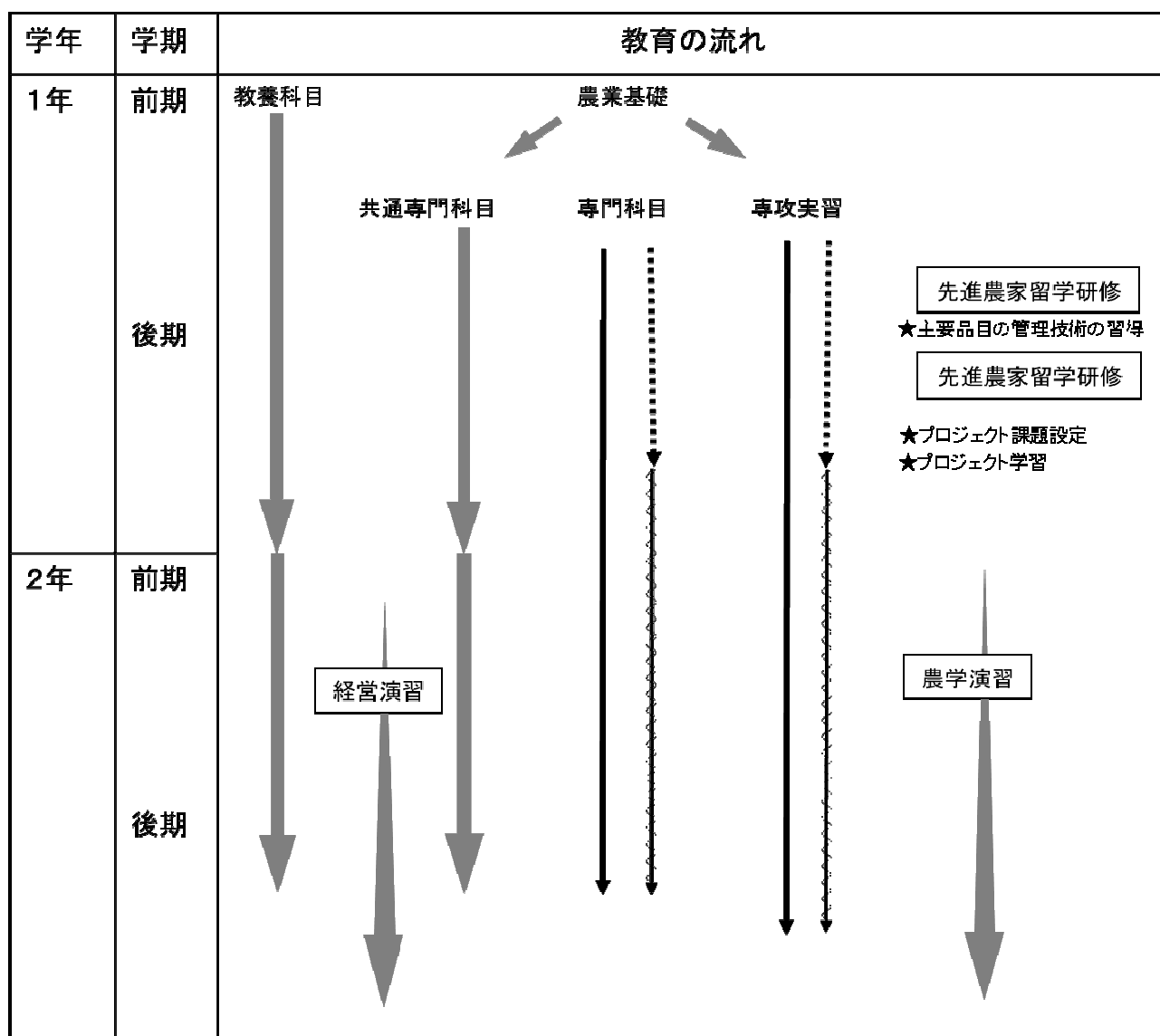
4 教育体系

先進的な経営を行うにふさわしい人材を養成するため、1年次にはまず農業に関する基礎的な知識を学ぶ。作物や家畜の生理、生態や生産基本技術を学ぶ専攻科目と、作目への理解をより深めるための共通専門科目の修得を組み合わせ、さらに、全履修時間の概ね50%を農場での専攻実習とし、実践教育による専攻作目の共通技術を習得する。

特に、前期、後期の2回に分けた先進農家留学研修で農業経営者の技術や経営、生活等に対する考え方を産地現場において学習する。

2年次では自ら課題解決を図るためのプロジェクト学習に取り組む。自ら課題を設定、計画を立案し、農場において課題解決に至るプロセスを学び、農業経営を実践するうえで必要な能力の向上を図る。共通専門科目や専攻科目も合わせて修得し、プロジェクト学習の成果を踏まえて実現可能な農業経営計画を作成する。

なお、2年間の教育の中で、社会生活に役立つ教養科目の履修や、社会的に認知された各種資格免許等の取得支援を計画的に実施する。



 : 全課程履修(本校)
 : 畜産課程履修(本校)

 : 園芸課程履修(本校)
 : 畜産課程履修(分校、本校)

5 教育の内容

(1) 教育の進め方

「農林水産総合センター」の研究部門（農業研究所、畜産研究所等）や普及部門と一体となって、岡山県の農業振興方針を踏まえ、低コスト、高付加価値生産を進めるため、先進的な生産知識・技術等を身につけ、企業的経営能力・創造力の開発、地域リーダーとなり得る人材の育成に努める。

ア 就農意欲を高めるための教育

先進農家留学研修等による実践的経営感覚の習得。先進技術・応用技術研修など就農者としての必要な資格などの取得。

イ 先端技術・高度情報化等に対応するための教育

農業技術の高度化に対応できるバイオテクノロジーやICT、IoTなどの知識・技術の習得。

ウ 低コスト、高付加価値生産を推進するための教育

プロジェクト学習等の実践教育による、生産コストの低減や生産物の高品質、高付加価値化を進めるのに必要な知識・技術の習得。

エ 企業的な経営能力の開発・促進するための教育

経営者能力の向上を目的とした、生産性の向上、経営の分析、マーケティング等のコスト感覚の養成に関する知識・技術の習得。

オ 地域リーダーとしての能力開発をするための教育

広い視野と人間性豊かな人格の形成と、地域リーダーとなるべき能力の開発を目的とした、社会文化、社会常識等の一般教養の習得。

カ 創造性の開発を促進させるための教育

国際経済の自由化、グローバル化の中の農業情勢に対応できる、独創的な発想、実行力を発揮できる能力の習得。

キ 時代のニーズに応え学習意欲を高めるための教育

岡山大学等の外部講師による園芸概論、農業法規、農政時事問題、集落管理計画論等の共通専門科目や有機農業論、GAP実践論、フラワー装飾、6次産業化起業論、スマート農業実践論など社会的に関心が高い分野についての教育内容を充実。

ク 学校生活に活力をみなぎらせる教育

魅力と活力ある学校生活とするため、特別講義、校外研修、収穫祭などの特別活動等。学生が目的意識や自主性を身につけられるよう、学生自治会及び寮自治会など課外活動の自主的活動を実施。

(2) 教科別授業時間数

教 科	学年	科目数	講義	実技・演習	実験	実習	特別活動等	時間数計
教養科目 A	1	6	96	60				156
	2	2		52				52
	計	8	96	112				208
特別活動等 B	1	5	20				140	160
	2	4	4				112	116
	計	9	24				252	276
共通専門科目 C	1	17	216	76	56	252		600
	2	7	116	192				308
	計	24	332	268	56	252		908
園芸共通科目 D	1	2	56					56
	2	6	84					84
	計	8	140					140
園芸専攻科目 E	1	3	40			708		748
	2	4	96	144		748		988
	計	7	136	144		1,456		1,736
園芸課程小計 G (C+D+E)	1	22	312	76	56	960		1,404
	2	17	296	336		748		1,380
	計	39	608	412	56	1,708		2,784
園芸課程合計 (A+B+G)	1	33	428	136	56	960	140	1,720
	2	23	300	388		748	112	1,548
	合計	56	728	524	56	1,708	252	3,268
畜産専攻科目 F	1	7	132			668		800
	2	9	132	144	16	796		1,088
	計	16	264	144	16	1,464		1,888
畜産課程小計 H (C+F)	1	24	348	76	56	920		1,400
	2	16	248	336	16	796		1,396
	計	40	596	412	72	1,716		2,796
畜産課程合計 (A+B+H)	1	35	464	136	56	920	144	1,720
	2	22	252	388	16	796	96	1,548
	合計	57	716	524	72	1,716	240	3,268

(注) 1 時間は 45 分授業

1 年生畜産は特別活動 (オリエンテーション) +4 時間

2 年生畜産は特別活動 (プロジェクト発表) -16 時間

1 年生生物工学実験非選択者は実習+36 時間

(3) 授業科目及び時間

ア 教養科目

科 目	講 師	内 容	授業 形態	時 間		
				1年	2年	計
人間と社会	学識 経験者	和太鼓、フラワーアレンジ、ペン習字、英語から 1科目選択	実技	40	32	72
くらしと環境	農 大	交通安全、防火訓練、栄養管理・健康対策、救急 救命、農業気象等に関する講習・講義	講義	24		24
体 育	農 大	ソフトボール、卓球、バドミントン等	実技	20	20	40
応用化学Ⅰ	農 大	毒物劇物を中心とした法律と化学関係の講義	講義	20		20
応用化学Ⅱ	農 大	危険物を中心にした法律と化学関係の講義	講義	20		20
社会科学基礎	農業経営者 民間他	就農や就職に向けた社会科学関係の基礎知識の習 得（オムニバス形式）	講義	32		32
合 計				156	52	208

イ 特別活動等：以下の科目は校則第20条第1項の規定における考查の対象とはならない

科 目	講 師 又は主催	内 容	授業 形態	時 間		
				1年	2年	計
特 別 活 動	農 大	環境美化、就農・就職説明会等	特活	24	24	48
校 外 研 修	農 大	県内、県外の農業産地・施設の視察研修等	特活	8		8
プロジェクト 発 表 会	学 生 自治会	プロジェクト学習の計画、中間発表、専攻別成績 発表等	特活	60	56	116
主要行事	農 大 又は学生自 治会	始業式、入学式、農大体育の日、収穫祭、先進農 家留学研修成果発表会、卒業式、終業式、オリエ ンテーション(畜産課程1年は右記に+4)	特活	48	32	80
応用技術研修	民間他	小型車両系建設機械運転特別教育、トラクター運 転技術、トラクターけん引運転技術、アーク溶接 特別教育、フォークリフト運転技能、牛削蹄師、 家畜人工授精師、家畜商免許等	実技	(※148)	(※136)	(※284)
特別講義	農 大	基礎数学・狩猟免許講習、海外農業研修、日本農 業技術検定学習等	講義	20	4	24
合 計				160	116	276

※は希望者の選択

ウ 共通専門科目

科 目		講 師	内容及び到達目標	授業形態	時 間			単位数
					1年	2年	計	
農業基礎		農 大 農産課 民 間	農業の現状を理解するとともに、農作物栽培の基礎知識や農機具の使い方等を習得する。	講義	20		20	1
選択	生物工学実験Ⅰ	農大、農業 開発研究所	植物の生長点等の無菌培養技術とバイオテクノロジーの知識を習得する。	実験	36		36	1
作物概論		普及推進課 農業研究所	作物（水稻、麦、大豆等）の現状と動向、生理生態、育苗・本田管理・施肥・収穫等栽培技術等を理解する。	講義	20		20	1
園芸概論		岡山大学	園芸作物の生理生態・繁殖法、園芸の役割等を理解する。	講義	20		20	1
園芸基礎		農 大	園芸作物の全般的な基礎知識や、一般的な栽培方法について理解する。	講義	24		24	1
先進農家留学研修		農 家	先進農家での農作業・生活体験を通じ、農家の現状を理解する。	実習	240		240	8
畜産概論 (畜産学)		農 大	畜産における家畜生産と利用、育種、家畜管理、畜産経営等を理解する。	講義	24		24	1
集落管理計画論		岡山大学	農村地域の課題を理解し、リーダー育成に向けた事例研究、ワークショップ等を習得する。	講義	20		20	1
土壌肥料実験		農 大 農業研究所	土壌肥料の化学分析、土壌調査等の手法を習得する。	実験	20		20	1
土壌肥料概論		普及推進課 農業研究所	土壌の基本的性質、土壌管理、肥料の種類と性質、施肥設計等を理解する。	講義	28		28	1
農業経営論		農業研究所	農業経営の仕組み、マーケティングや農業・農村の役割等を理解する。	講義	20		20	1
農政時事問題		岡山大学	農政時事全般についての見識を深める。	講義	20		20	1
G A P 実践論		農 大 農産課 民 間	G A P に関する模擬演習や講義を通じ、知識を深める。	講義	20		20	1
農業機械利用		民 間	農業機械と農作業、トラクター等農作業機械の構造と取扱方法等を理解する。	演習	24		24	1
農業施設整備実習		民 間	簡易ハウスの設計、組立、分解操作を習得する。	実習	12		12	1
農業法人論		学識経験者	農業法人の種類、法人化のメリット、貸借対照表の見方等を理解する。	講義		20	20	1
農業法規		岡山大学	農地法、農業経営基盤強化促進法等農業関連法令に関する知識を深める。	講義		20	20	1
6 次化起業論Ⅱ		農業開発研 究所	6 次産業化商品の試作や開発、販売方法、需要動向等の講義を通じ、理解を深める。	講義		28	28	1
農業経営分析論		普及推進課 他	経営分析診断の手法、税金の仕組み、青色申告の仕方等により経営分析の手法を理解する。	講義		24	24	1
情報処理		民 間	ワープロ・表計算(1年)とワープロ・表計算応用、パワーポイント(2年)の操作方法を習得する。	演習	32	32	64	4
農業経営演習		農 大	先進農家留学研修の地域調査、報告書まとめ(1年)、経営計画の作成等(2年)により農業の現状と課題を把握する。	演習	20	160	180	8
スマート農業実践論		農 大 民 間	スマート農業の現状と基礎知識を講義や視察研修を通じ、理解する。	講義		24	24	1
合 計					600	308	908	39

エ 園芸課程

(ア)共通科目

科 目		講 師	内容及び到達目標	授業形態	時 間			単位数
					1年	2年	計	
作物保護論		農業研究所	植物病害の概念、病原、発病の生態、防除法、害虫の概念、生態、被害態様、防除法等に関する知識を深める。	講義	28		28	1
6次化起業論Ⅰ		農業開発研究所	6次産業化に必要な知識(農産物の成分、農産物の品質と変質、発酵食品、園芸食品の加工等)を講義・実技により理解を深める。	講義	28		28	1
1科目選択	フラワー装飾	学識経験者	講義や実技を通し、フラワー装飾技能資格2・3級取得を目指す。	講義		20	20	1
	有機農業論	農大、農産課、農業研究所等	有機農業の定義、土づくり、栽培基準、認証制度と表示等に関する知識を講義・視察研修を通じて深める。	講義		20	20	1
1科目選択	造園設計	学識経験者	造園の基礎、設計、測量技術、庭園管理技術等に関する知識を講義・実技により深める。	講義		20	20	1
	森林資源活用	森林研究所他	森林資源の特性や利活用等に関する知識を講義・実技により深める。	講義		20	20	1
施設園芸論		岡山大学	施設園芸の特色、施設の種類と利用法等に関する知識を深める。	講義		20	20	1
生産物流通論		農業団体、企業経営者、農業者市場等	農産物流通の現状と動向、消費者ニーズとマーケティング、卸売市場のしくみ等の知識を講義・視察研修により深める。	講義		24	24	1
合 計					56	84	140	6

(イ)専攻科目

①果樹コース

科 目	講 師	内容及び到達目標	授業形態	時 間			単位数
				1年	2年	計	
果樹園芸総論	農 大	果樹の種類、繁殖法、栽培適地、果樹の生理、整枝とせん定法、土壌管理と施肥技術、施設栽培等に関する知識を深める。	講義	20		20	1
果樹園芸各論	農大 普及推進課 農業研究所	もも、ぶどう等本県主要果樹の品種特性や栽培管理技術、新技術等に関する知識を深める。	講義	20	64	84	4
果樹経営論	農 大	果樹経営の歴史と現状、改善方法等を県内外先進農家等の経営事例調査等により理解する。	講義		32	32	2
農 学 演 習	農 大	別表のとおり（16～17ページ参照）	演習		144	144	5
*専 攻 実 習	農 大	農業普及指導員資格のある職員が、現場産地での栽培指導等、長年の実務経験を活かし実習の指導にあたる。別表のとおり（16～17ページ参照）	実習	708	748	1,456	33
合 計				748	988	1,736	45

②野菜コース

科 目	講 師	内容及び到達目標	授業形態	時 間			単位数
				1年	2年	計	
野菜園芸総論	農 大	野菜の種類と増殖技術、作型、育苗技術、土壌管理と施肥技術、施設栽培、養液栽培、機械化技術等に関する知識を深める。	講義	20		20	1
野菜園芸各論	農大 普及推進課 農業研究所	トマト、なす、きゅうり、いちご等主要品目の品種特性や栽培管理技術、新技術等に関する知識を深める。	講義	20	64	84	4
野菜経営論	農 大	野菜経営の歴史と現状、改善方法等を県内外先進農家等の経営事例調査等により理解する。	講義		32	32	2
農 学 演 習	農 大	別表のとおり（18～19ページ参照）	演習		144	144	5
*専 攻 実 習	農 大	農業普及指導員資格のある職員が、現場産地での栽培指導等、長年の実務経験を活かし実習の指導にあたる。別表のとおり（18～19ページ参照）	実習	708	748	1,456	33
合 計				748	988	1,736	45

③花きコース

科 目	講 師	内容及び到達目標	授業形態	時 間			単位数
				1年	2年	計	
花き園芸総論	農 大	花きの種類と育種方法、繁殖と種苗生産、土壌管理と施肥技術、生長と開花調節の方法、環境調節技術等に関する知識を深める。	講義	20		20	1
花き園芸各論	農大 普及推進課 農業研究所	きく、カーネーション、ばら、シクラメン、花木、花壇苗等主要品目の品種特性や栽培管理技術、新技術等に関する知識を深める。	講義	20	64	84	4
花き経営論	農 大	花き経営の歴史と現状、改善方法等を県内外先進農家等の経営事例調査等により理解する。	講義		32	32	2
農 学 演 習	農 大	別表のとおり（20～21ページ参照）	演習		144	144	5
*専 攻 実 習	農 大	農業普及指導員資格のある職員が、現場産地での栽培指導等、長年の実務経験を活かし実習の指導にあたる。別表のとおり（20～21ページ参照）	実習	708	748	1,456	33
合 計				748	988	1,736	45

* 実務経験のある教員等による授業科目

オ 畜産課程

和牛コース

科 目		講 師	内容及び到達目標	授業形態	時 間			単位数
					1年	2年	計	
飼料学	飼料作物	農 大	飼料の種類・特徴、飼料作物の栽培利用技術等に関する知識を深める。	講義	24		24	1
	家畜栄養	岡山大学	消化器、栄養素の分類、消化吸收、物質代謝等に関する知識を深める。	講義	20		20	1
畜産物利用論		農 大 岡山大学 民間	畜産物原料と加工利用に関する知識を深める。	講義	24		24	1
家畜管理		分 校	家畜環境、行動、畜舎施設等に関する知識を深める。	講義	20		20	1
家畜繁殖学	家畜繁殖	分 校	家畜の繁殖生理、ホルモン、妊娠及び分娩等に関する知識を深める。	講義	20		20	1
	家畜育種	分 校	育種、遺伝、人工授精、生殖器解剖等に関する知識を深める。	講義		20	20	1
家畜飼養学	家畜飼養	農 大	家畜飼養管理技術に関する知識を深める。	講義	24		24	1
	家畜疾病	分 校	家畜の疾病の原因、症状、予防、衛生管理等に関する知識を深める。	講義		20	20	1
	畜産経営論	農 大 分校	肉用牛経営の現状や課題や改善方法を県内外先進農家の経営事例調査を通じ理解する。	講義		36	36	2
草地管理		分 校	草地概論、草地造成、草地管理利用、貯蔵飼料等に関する知識を深める。	講義		20	20	1
生物工学実験Ⅱ		分 校	受精卵の移植技術操作等を実験を通し、理解する。	実験		16	16	1
研究ゼミ		分 校	自主的な課題研究を行い、自己研鑽を図る。	講義		16	16	
畜産環境保全		分 校	家畜排せつ物の処理方法、環境保全技術等に関する知識を深める。	講義		20	20	1
農学演習		農 大	別表のとおり（22～23ページ参照）	演習		144	144	5
＊専攻実習		農 大 分校 農 家	農業普及指導員資格のある職員や畜産研究所で家畜の飼育管理を行っている職員が、その実務経験を活かし、実習の指導にあたる。 また、現地農場での実習を合わせて行い、より実際に即した先進的な技術を習得する。別表のとおり（22～23ページ参照）	実習	668	796	1,464	33
合 計					800	1,088	1,888	51

＊ 実務経験のある教員等による授業科目（2年時は外部農家での実習176時間を含む）

(4) 年間授業計画(令和6年度)

月	学年	月曜 I・II 8:50～12:00 III・IV 13:00～16:10	火曜 I・II 8:50～12:00 III・IV 13:00～16:10	水曜 I・II 8:50～12:00 III・IV 13:00～16:10	木曜 I・II 8:50～12:00 III・IV 13:00～16:10	金曜 I・II 8:50～12:00 III・IV 13:00～16:10	備考
		4月1日	4月2日	4月3日	4月4日	4月5日	
	1年園芸						
	1年畜産						
	2年園芸						
	2年畜産						
		春季休業(プロジェクト研究)					
		4月8日	4月9日	4月10日	4月11日	4月12日	
	1年園芸			オリエンテーション		農業基礎①	4/8始業式 4/9入学式 4/10オリエンテーション
	1年畜産			入学式		農業基礎② (刈払機)	
	2年園芸			入学式		実習	
	2年畜産			実習		実習	農業演習①
		4月15日	4月16日	4月17日	4月18日	4月19日	
	1年園芸			実習		実習	
	1年畜産			実習		実習	
	2年園芸			実習		実習	
	2年畜産			実習		実習	
		4月22日	4月23日	4月24日	4月25日	4月26日	4/22プロジェクト計画発表会 4/27野菜の日
	1年園芸			実習		実習	
	1年畜産			実習		実習	
	2年園芸			実習		実習	
	2年畜産			実習		実習	
		4月29日	4月30日	5月1日	5月2日	5月3日	
	1年園芸			実習			
	1年畜産			実習			
	2年園芸			実習			
	2年畜産			実習			
		5月6日	5月7日	5月8日	5月9日	5月10日	
	1年園芸			園芸総論④		実習	5/7プロジェクト中間発表会
	1年畜産			家畜飼養④		実習	
	2年園芸			実習		実習	
	2年畜産			実習		実習	
		5月13日	5月14日	5月15日	5月16日	5月17日	
	1年園芸			実習			
	1年畜産			実習		生物工学α②	生物工学β②
	2年園芸			実習		実習	
	2年畜産			実習		実習	
		5月20日	5月21日	5月22日	5月23日	5月24日	
	1年園芸			実習		生物工学α③	生物工学β③
	1年畜産			家畜飼養⑥		実習	
	2年園芸			実習		実習	
	2年畜産			実習		実習	
		5月27日	5月28日	5月29日	5月30日	5月31日	
	1年園芸			実習		実習	
	1年畜産			実習		実習	
	2年園芸			実習		実習	
	2年畜産			実習		実習	

(4) 年間授業計画(令和6年度)

月	学年	月 曜		火 曜		水 曜		木 曜		備 考			
		I・II 8:50～12:00	Ⅲ・Ⅳ13:00～16:10	I・II 8:50～12:00	Ⅲ・Ⅳ13:00～16:10	I・II 8:50～12:00	Ⅲ・Ⅳ13:00～16:10	I・II 8:50～12:00	Ⅲ・Ⅳ13:00～16:10				
6月		6月3日		6月4日		6月5日		6月6日		6月7日			
	1年園芸	生物工学α④	生物工学β④	人間と社会③	プロジェクト中間発表会(2年)	実習	実習	作物概論⑤	集落管理計画論①	実習	特別活動【環境美化】		
	1年畜産					実習	実習					実習	
	2年園芸	農業法規③	農業経営分析論④			実習	実習						園芸各論③
	2年畜産					実習	実習						
		6月10日		6月11日		6月12日		6月13日		6月14日			
	1年園芸			先進農家留学研修									
	1年畜産												
2年園芸	実習	就職・就職説明会②	農業法人論①	農業経営分析論⑤	実習	実習	実習	実習	実習	実習	農学演習⑧		
2年畜産	6月17日		6月18日	6月19日	6月20日	6月21日							
6月	1年園芸					先進農家留学研修						6/23危険物取扱者第1回	
	1年畜産			農業法人論②	農業経営分析論⑥	実習	選択:森林資源活用①	選択:有機農業③④	実習	実習	実習		
	2年園芸	実習		農業法人論③		実習	草地管理⑤	畜産経営論④	実習	実習	研究ゼミ②		
	2年畜産	6月24日	6月25日	6月26日	6月27日	6月28日							
		6月24日		6月25日		6月26日		6月27日		6月28日			
	1年園芸			先進農家留学研修									
	1年畜産												
	2年園芸	実習	経営演習Ⅱ②	農業法人論④	スマート農業論①	実習	園芸各論④	園芸経営論①②	実習	実習	農学演習⑧		
2年畜産	7月1日	実習	応用化学Ⅰ②	体育③	実習	実習	園芸基礎④	集落管理計画論②	生物工学α⑤	生物工学β⑤			
7月	1年園芸	飼料作物③	実習	人間と社会④	プロジェクト中間発表会(2年)	農学演習⑨	園芸各論⑤	校外実習	校外実習	校外実習	校外実習		
	1年畜産	農業法規④	農業法人論⑤			校外実習	校外実習	校外実習	校外実習	校外実習	校外実習	校外実習	
	2年園芸					校外実習	校外実習	校外実習	校外実習	校外実習	校外実習	校外実習	
	2年畜産					校外実習	校外実習	校外実習	校外実習	校外実習	校外実習	校外実習	
	応用技術研修	7月15日	7月16日	7月17日	7月18日	7月19日							
	1年園芸		実習	実習	実習	実習	実習	実習	実習	実習	実習		
	1年畜産	海の日	実習	実習	実習	実習	実習	実習	実習	実習	実習		
	2年園芸		実習	校外実習	校外実習	校外実習	校外実習	校外実習	校外実習	校外実習	校外実習		
7月	1年園芸	7月22日	7月23日	7月24日	7月25日	7月26日							
	1年畜産	実習	実習	実習	実習	実習	実習	実習	実習	実習	実習		
	1年畜産	飼料作物⑤	実習	実習	実習	実習	実習	実習	実習	実習	実習		
	2年園芸	実習	実習	実習	実習	実習	実習	実習	実習	実習	実習		
	2年畜産	実習	農学演習⑩	健康診断									
		7月29日	7月30日	7月31日	8月1日	8月2日							
	1年園芸	情報処理①	情報処理②	実習	特別活動【環境美化】								
1年畜産	集落管理計画論⑤	実習	実習	実習	実習	実習	実習	実習	実習	実習			
2年園芸	実習	情報処理①	情報処理②	情報処理③	特別活動【環境美化】								
2年畜産	実習	実習	実習	実習	特別活動【環境美化】								

(4) 年間授業計画(令和6年度)

月	学年	月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜	備考													
		I・II 8:50～12:00 Ⅲ・Ⅳ13:00～16:10	I・II 8:50～12:00 Ⅲ・Ⅳ13:00～16:10	I・II 8:50～12:00 Ⅲ・Ⅳ13:00～16:10	I・II 8:50～12:00 Ⅲ・Ⅳ13:00～16:10	I・II 8:50～12:00 Ⅲ・Ⅳ13:00～16:10														
8月	1年園芸	8月5日	8月6日	8月7日	8月8日	8月9日														
	1年畜産	夏季休業(プロジェクト研究)																		
	2年園芸																			
	2年畜産																			
	1年園芸	8月12日	8月13日	8月14日	8月15日	8月16日														
8月	1年園芸	夏季休業(プロジェクト研究)																		
	1年畜産																			
	2年園芸																			
	2年畜産																			
	応用技術研修	8月19日	8月20日	8月21日	8月22日	8月23日	トラクター説明会 乗車研修D①													
1年園芸	夏季休業(プロジェクト研究)						トラクター A・B班:1年 C班:1・2年 D・E班:一般 8/24 オープンキャン パス③													
1年畜産							生物工学α⑥						実習	実習						
2年園芸													園芸各論⑧						実習	実習
2年畜産																			校外実習	
応用技術研修							乗車研修E①	乗車研修A①	乗車研修B①	乗車研修C①	乗車研修E②	乗車研修D②	乗車研修B②	乗車研修A②	乗車研修C②					
9月	1年園芸	8月26日	8月27日				8月28日	8月29日	8月30日											
	1年畜産	情報処理③	実習	実習	実習		実習	実習	応用化学Ⅰ④	実習										
	2年園芸	実習	実習	実習	情報処理④		実習	実習	実習	実習										
	2年畜産	実習	スマート農業論③	実習	校外実習		校外実習	校外実習	校外実習	校外実習										
	応用技術研修	乗車研修E③	乗車研修D③	乗車研修B③	乗車研修C③	乗車研修A③	乗車研修D④	乗車研修B④	乗車研修E④	乗車研修A④										
9月	1年園芸	9月2日	9月3日				9月4日	9月5日	9月6日	9/34 プロジェクト中 間発表会 9/7 果樹の日										
	1年畜産	実習	実習	実習	農業経営論①		生物工学α⑦	実習	実習	実習										
	2年園芸	実習	実習	プロジェクト中間発表会(2年)	実習	表会(2年)		園芸各論⑨	実習	実習										
	2年畜産	実習	スマート農業論④	農業演習⑪	校外実習	校外実習	校外実習	校外実習	校外実習	校外実習										
	応用技術研修	乗車研修A⑤	乗車研修C⑤	乗車研修B⑤	乗車研修D⑤	乗車研修E⑤	乗車予備	乗車研修E⑤	試験①(学生)											
9月	1年園芸	9月9日	9月10日				9月11日	9月12日	9月13日											
	1年畜産	実習	実習	人間と社会⑤	実習	実習	生物工学α⑧	情報処理⑤	情報処理⑥											
	2年園芸	実習	実習	体育④	実習	実習	園芸各論⑩	実習	実習											
	2年畜産	情報処理⑤	情報処理⑥	校外実習	校外実習	校外実習	校外実習	校外実習	校外実習											
	応用技術研修	試験②(学生)					試験③(学生＋一般)													
9月	1年園芸	9月16日	9月17日				9月18日	9月19日	9月20日											
	1年畜産	敬老の日	経営演習Ⅰ④	農業経営論②	情報処理⑦	実習	応用化学Ⅰ⑤	情報処理③	実習											
	2年園芸		実習	実習	実習	飼料作物⑥	実習	実習	実習											
	2年畜産		実習	実習	情報処理⑦	校外実習	校外実習	校外実習	校外実習	情報処理⑧										
	応用技術研修				試験④(一般)	試験⑤(再試験)														
9月	1年園芸	9月23日	9月24日				9月25日	9月26日	9月27日											
	1年畜産	先進農家留学研修						9月27日												
	2年園芸							9月27日												
	2年畜産							9月27日												
	1年園芸	振替休日							園芸経営論⑦⑧	実習	校外実習	校外実習	9/28 推薦入試							

(4) 年間授業計画(令和6年度)

月		学年		月曜		火曜		水曜		木曜		金曜		備考	
11月		1年園芸 1年畜産 2年園芸 2年畜産		I・II 8:50～12:00 11月25日		III・IV 13:00～16:10 11月26日		I・II 8:50～12:00 11月27日		III・IV 13:00～16:10 11月28日		I・II 8:50～12:00 11月29日		プロジェクト計画発表会 11/30 花の日	
		土壌肥料実験B③ 土壌肥料実験B④		実習 農業演習⑱		プロジェクト計画発表会(1年) 実習 農業演習⑲		土壌肥料実験B⑤ GAP実践論②		社会科学基礎③ 農業演習⑳		家畜栄養③ 実習		実習	
		12月2日		12月3日		12月4日		12月5日		12月6日		12月6日		12/7日本農業技術検定 この週末あたりで 前試験(1年生)2日間	
		実習 実習 実習 実習		応用化学Ⅱ① 農業演習㉔		土壌肥料概論④ 農業演習㉕		畜産概論⑤⑥ 農業演習㉖		社会科学基礎④ 農業演習㉗		6次化論Ⅰ② 家畜栄養④ 実習		くらしと環境③ 健康管理 農業演習㉘	
		12月9日		12月10日		12月11日		12月12日		12月13日		12月13日		12/11～12 プロジェクト実績発表会	
		実習 実習 実習		応用化学Ⅱ② 農業演習㉑		土壌肥料概論⑥ 農業演習㉒		畜産物利用論④ 農業演習㉓		プロジェクト実績発表会(2年) 家畜人工授精師講習(森山)		実習 家畜栄養⑤ 実習		くらしと環境④ 健康管理 農業演習㉙	
		12月16日		12月17日		12月18日		12月19日		12月20日		12月20日			
		実習 畜産物利用論⑤⑥ 実習		応用化学Ⅲ③ 農業演習㉚		GAP実践論③ 農業演習㉛		作物保護論② 実習 経営演習Ⅱ⑤		土壌肥料概論⑦ 経営演習Ⅱ⑥ 経営演習Ⅱ⑦		実習 実習 実習		応用化学Ⅳ④ 実習	
		12月23日		12月24日		12月25日		12月26日		12月27日		12月27日			
		実習 実習 実習 実習		特別活動 【環境美化】 特別活動 【環境美化】				冬季休業(プロジェクト研究)							
		12月30日		12月31日		1月1日		1月2日		1月3日		1月3日			
		1年園芸 1年畜産 2年園芸 2年畜産						冬季休業(プロジェクト研究)							
		1月6日		1月7日		1月8日		1月9日		1月10日		1月10日			
		1年園芸 1年畜産 2年園芸 2年畜産		冬季休業(プロジェクト研究)		農業機械利用 実習 経営演習Ⅱ⑤		農業機械利用 実習 経営演習Ⅱ⑥		農業機械利用 実習 経営演習Ⅱ⑦		農業機械利用 実習 経営演習Ⅱ⑧		農業機械利用 実習 経営演習Ⅱ⑨	
		1月13日		1月14日		1月15日		1月16日		1月17日		1月17日		1/16～17 中国四国プロジェクト 等発表会 (鳥取・米子市)	
		成人の日		人間と社会⑨ 実習 実習		分枝オリエンテーション 実習 経営演習Ⅱ⑪		6次化論Ⅰ④ 実習 経営演習Ⅱ⑫		実習 実習 実習		実習 実習 実習		実習 実習 実習	
		1月20日		1月21日		1月22日		1月23日		1月24日		1月24日			
		実習 実習 実習 実習		応用化学Ⅱ⑤ 経営演習Ⅱ⑬		社会科学基礎⑤ 経営演習Ⅱ⑭		園芸各論① 家畜繁殖① 経営演習Ⅱ⑮		作物保護論③ 家畜管理① 経営演習Ⅱ⑯		実習 実習 実習		園芸各論② 家畜繁殖② 経営演習Ⅱ⑰	
		1月27日		1月28日		1月29日		1月30日		1月31日		1月31日			
		1年園芸 1年畜産 2年園芸 2年畜産		12月23日		12月24日		12月25日		12月26日		12月27日			
		1年園芸 1年畜産 2年園芸 2年畜産		特別活動 【環境美化】 特別活動 【環境美化】				冬季休業(プロジェクト研究)							
		1月6日		1月7日		1月8日		1月9日		1月10日		1月10日			
		1年園芸 1年畜産 2年園芸 2年畜産		冬季休業(プロジェクト研究)		農業機械利用 実習 経営演習Ⅱ⑤		農業機械利用 実習 経営演習Ⅱ⑥		農業機械利用 実習 経営演習Ⅱ⑦		農業機械利用 実習 経営演習Ⅱ⑧		農業機械利用 実習 経営演習Ⅱ⑨	
		1月13日		1月14日		1月15日		1月16日		1月17日		1月17日		1/16～17 中国四国プロジェクト 等発表会 (鳥取・米子市)	
		成人の日		人間と社会⑨ 実習 実習		分枝オリエンテーション 実習 経営演習Ⅱ⑪		6次化論Ⅰ④ 実習 経営演習Ⅱ⑫		実習 実習 実習		実習 実習 実習		実習 実習 実習	
		1月20日		1月21日		1月22日		1月23日		1月24日		1月24日			
		実習 実習 実習 実習		応用化学Ⅱ⑤ 経営演習Ⅱ⑬		社会科学基礎⑤ 経営演習Ⅱ⑭		園芸各論① 家畜繁殖① 経営演習Ⅱ⑮		作物保護論③ 家畜管理① 経営演習Ⅱ⑯		実習 実習 実習		園芸各論② 家畜繁殖② 経営演習Ⅱ⑰	

(4) 年間授業計画(令和6年度)

月	学年	月 曜		火 曜		水 曜		木 曜		金 曜		備考	
		I・II 8:50～12:00	III・IV 13:00～16:10	I・II 8:50～12:00	III・IV 13:00～16:10	I・II 8:50～12:00	III・IV 13:00～16:10	I・II 8:50～12:00	III・IV 13:00～16:10	I・II 8:50～12:00	III・IV 13:00～16:10		
1月	1年園芸	実習	1月27日	社会科学基礎⑥	1月28日	実習	1月29日	実習	1月30日	実習	1月31日	県青年農業者大会	
	1年畜産	実習		くらしと環境⑤ 農業気象		実習		実習		実習			
	2年園芸	実習		経営演習Ⅱ⑳		実習		実習		実習			
	2年畜産	実習		経営演習Ⅱ㉑		実習		実習		実習			
2月	1年園芸	施設整備A	2月3日	施設整備A	2月4日	施設整備B	2月5日	6次化論Ⅰ⑥	2月6日	園芸各論④	2月7日	2/8一般入試 後期 2/9危険物取扱者第3回	
	1年畜産	施設整備A		施設整備A		施設整備B		6次化論Ⅰ⑥		園芸各論④			
	2年園芸	実習		経営演習Ⅱ㉔		実習		実習		実習			
	2年畜産	実習		経営演習Ⅱ㉕		実習		実習		実習			
	1年園芸	くらしと環境⑥ 交通安全	2月10日	2月11日		実習	2月12日	実習	2月13日	実習	2月14日	2年生春季休業 2/21～	
	1年畜産	社会科学基礎⑦		建国記念の日		実習		実習		実習			
	2年園芸	実習			実習		実習		実習		実習		
	2年畜産	経営演習Ⅱ㉙			実習		経営演習Ⅱ㉚		実習		経営演習Ⅱ㉛		
	応用技術研修					実習		経営演習Ⅱ㉛		実習			アーク学科(共通)
	1年園芸	実習	2月17日	2月18日		実習	2月19日	実習	2月20日	実習	2月21日		
	1年畜産	実習		実習		実習		実習		実習			
	2年園芸	経営演習Ⅱ㉓		経営演習Ⅱ㉖		経営演習Ⅱ㉗		経営演習Ⅱ㉘		経営演習Ⅱ㉙			春季休業
2年畜産	アーク学科(共通)		アークα班		アークα班	2月26日	アークβ班	2月27日	アークβ班	2月28日			
1年園芸	振替休日	2月24日	2月25日		実習	2月26日	実習	2月27日	実習	2月28日	アーク学科A区分(普通免許なし)		
1年畜産			人間と社会⑩		実習		実習		実習				
応用技術研修					実習						アーク学科A区分		
3月	1年園芸	実習	3月3日	3月4日		実習	3月5日	実習	3月6日	実習	3月7日	アーク学科B区分(学科・実技(A・B区分))	
	1年畜産	実習		実習		実習		実習		実習			
	応用技術研修	アーク学科(共通)		アークα班		アークα班		アークα班		アークβ班			
	1年園芸	実習	3月10日	3月11日		実習	3月12日	実習	3月13日	実習	3月14日		
	1年畜産	実習		実習		実習		実習		実習		3/14卒業式	
	応用技術研修	アークβ班		アークβ班		実習		卒業式		実習			
	1年園芸	実習	3月17日	3月18日		実習	3月19日	卒業式(卒業式準備)	3月20日	卒業式	3月21日		
	1年園芸	実習		特別活動		実習		卒業式		実習		3/18卒業式	
	1年畜産	実習		【環境美化】		実習		卒業式		実習			
	1年園芸	実習	3月24日	3月25日		実習	3月26日	卒業式	3月27日	卒業式	3月28日		
	1年畜産	実習				実習		卒業式		実習			

春季休業(プロジェクト研究)～4月7日

(5) 専攻別演習・実習計画

ア 果樹コース

指導の重点と到達目標	1年生	1 もも、ぶどうを中心とした岡山県の主要な果樹について、基礎的な栽培技術を習得する。 2 永年作物である果樹の特性を理解するため、実習を通じて生育状況の把握と観察力を養う。 〔主な栽培管理〕 ・もも:人工受粉、摘果、袋掛け、収穫、施肥、土づくり、剪定、摘蕾、除草 ・ぶどう:ビニール被覆、新梢管理(芽かき、誘引、摘心)、植調剤処理、結実管理(花穂の整形、摘粒)、剪定、土づくり、除草 ・病虫害診断とその防除法									
	2年生	1 将来の果樹経営のために重要な課題を取り上げ、プロジェクト活動を行う。 2 担当作物の栽培管理を通じて、高品質生産のための管理技術を身に付けるとともに、経営感覚を養う。 3 生育調査、品質調査を通じて調査方法の習得を行う。									
番号	ほ場	作目	品 種	1	2	3	4	5	6	7	8
16	ガラス温室 1a	ぶどう	紫苑	— x —			△-☆	G-G	◇	◇◆	
17	ガラス温室 1a	ぶどう	瀬戸ジャイアンツ	— x —			△-☆	G-G	◇	◇◆	
18	MMA温室 16a	ぶどう	マスカット・オブ・アレキサンドリア シャインマスカット ロザリオ ビアンコ 瀬戸ジャイアンツ、マスカット ビオレー ゴールドフィンガー、オリエンタルスター、ナガノパープル	— x —			△-☆	G-G	◇	◇◆	□
19	MMA温室 4.8a	ぶどう	ピオーネ オーロラブラック シャインマスカット	— x —			△-☆	G-G	◇	◆	□
38	簡易被覆 10a	ぶどう	ピオーネ オーロラブラック シャインマスカット クイーンニーナ	— x —			∩-△-☆	G-G	◇	◆	□
36 37 41	露地 20a	もも	はなよめ、加納岩白桃 さきがけはくとう、夢あさま 白鳳、あかつき、なつごころ 清水白桃、おかやま夢白桃 白麗、白皇、白露、黄金桃	x-▼	▼	▼	●	◇	◆	□□□□□□□□	
40	露地 4a	かき	富有、次郎 太秋、西条 愛宕、早秋		x			○	◇	◇	
39	露地 5a	すもも	大石早生、李王		x		●	◇	□□□□		

凡例 x: 剪定、▲: 加温、▼: 摘蕾、∩: ビニール被覆、△: 発芽、☆: 芽かき、○: 開花、●: 人工授粉、G: ホルモン処

袋かけ、収穫、施肥、				演 習 計 画	
				1 1年間の栽培計画とプロジェクト実施計画の作成 2 生育調査、果実品質調査の実施 3 文献及び現地講習等による栽培技術の学習 4 調査結果の取りまとめと分析 5 プロジェクト発表(準備)	
9	10	11	12	ねらい	研究課題
-----□□□□□#-----				・紫苑の栽培技術の習得	
--□□□□#-----				・瀬戸ジャイアンツの栽培技術習得	
1□□□□□□□□□□-#				・欧州系ぶどう品種の施設栽培技術の習得 ・無核栽培技術の習得 ・ぶどうの若木育成技術の習得	・房形の優れる栽培方法の検討 ・着色向上技術の検討
1□□-----#-----				・欧米雑種ぶどう品種の基本技術の習得 ・ぶどうの若木育成技術の習得	・果房管理の省力化の検討
□□□-----#-----				・欧米雑種ぶどう品種の基本技術の習得 ・ぶどうの若木育成技術の習得	・着色向上技術の検討 ・盆前出荷技術の検討
1□□-----#-----				・ももの基本技術を習得 ・ももの若木育成技術の習得	・安定生産、品質向上対策の検討
-----□□□□#-----				・かきの基本技術の習得	
-----#-----				・すももの基本技術の習得	

□:理、◇:摘果、◆:袋(笠)掛け、□:収穫、#:施肥・土づくり

イ 野菜コース

指導の重点と到達目標	1年生	1 野菜全般の栽培管理や施設管理を体験し、野菜の作型や輪作体系を理解し基礎的栽培技術を習得する。 2 プロジェクト学習計画を樹立する。 3 主な学習項目：有機物施用法、基肥施用法、耕うん法、播種法、間引き法、接ぎ木法、定植法、灌水法、耕・土寄せ法、収穫・選別・荷造り法、病害虫診断・防除法、雑草管理法、土壌消毒法、育苗培土の配製法、内張カーテンの張り方、暖房機の整備法、ハウス温度管理技術、電熱温床の作り方、育苗管理技術の使い方)、収穫物の糖度測法等									
	2年生	1 プロジェクト学習として、作目を選定し、研究課題を設定して一貫した圃場管理を担当する。 2 経営管理面では労働時間及び生産(コスト)費、販売量、売上高を把握し、現状分析と将来の営農計画を樹立する。 3 主な学習項目：主要農薬の混用法、除草剤の使用法、植物成長調整剤の利用法、土壌病害虫の防除の鮮度保持法、被覆資材利用法、電照方法、プロジェクト学習の調査結果分析法、将来営農計画の樹立									
番号	ほ場	作目	1	2	3	4	5	6	7	8	
1	エフクリーン 210㎡	ミニトマト	△●○□□□□□□□□								
2	エフクリーン 210㎡	ピーマン	△●○□□□□□□□□□□								
3	エフクリーン 210㎡	ブロッコリー	△○□□□								
4	エフクリーン 210㎡	イチゴ(育苗)	△◎								
6	FRA 150㎡	野菜苗全般育苗	(ナス、トマト、キュウリ、葉菜類等)								
7	ビニール 120㎡	アスパラガス 軟弱野菜	□□□□□□□□□□□□□□□□ △□□△□□△□□△□□△□□△□□								
8	MMA 216㎡	大玉トマト	△●○□□□□□□□□□□□□								
9	PO 180㎡	イチゴ	□□□□□□□□□□□□□□□□								
10	MMA 216㎡	中玉トマト	△●○□□□□□□□□□□□□								
11	PO 180㎡	イチゴ	□□□□□□□□□□□□□□□□								
12	MMA 216㎡	ミニトマト	△●○□□□□□□□□□□□□								
13	PO 180㎡	イチゴ	□□□□□□□□□□□□□□□□								
14	PO 180㎡	イチゴ	□□□□□□□□□□□□□□□□								
34	露地	ナス	△▼●○□□□□□□□□□□								
15	(有機ハウス) ビニール 216㎡ (有機露地)	ニンジン、ダイコン カボチャ	△□□□□□ △□□□□□□□□□□□□□□								
35	露地	アスパラガス	□□□□□□□□□□□□□□□□								
44	露地 (畜産ほ場)	タマネギ スイートコーン	□ ○□□△								

凡例 △：は種or親株植付、▼：接ぎ木、●：移植、◎：採苗、○：定植、□：収穫

ける。 、整枝・誘引法、マルチングの方法、中 含と消毒法、ビニールハウスの被覆 術、土壌分析法(塩類濃度・pH測定器				演 習 計 画 1 プロジェクト計画の樹立 2 生育調査、収穫調査、コスト調査、市場性調査の実施 3 プロジェクトの遂行中に生じた問題点の原因究明 4 最新の栽培技術情報の収集とその理論の学習 5 プロジェクト調査結果のとりまとめ 6 プロジェクト発表の準備		
樹立する。 法、追肥施肥法、葉面散布法、収穫物 立						
9	10	11	12	ねらい	研究課題	
□□□□				・ミニトマトの栽培技術の習得		
□□□□□□□				・ピーマン栽培の基礎技術の習得	・カラーピーマンの熟期促進検討	
				・ブロッコリーの栽培技術の習得		
---○				・イチゴの育苗技術の習得		
				・野菜育苗の基礎技術の習得		
□□□□□□----- ---□□ △-----□□				・アスパラガスのハウス栽培技術 及び軟弱野菜の周年栽培技術 の習得		
□□□□□□'				・大玉トマトの栽培技術の習得	・単為結果性品種の収量・品質向上 検討	
○-----□□				・イチゴの高設栽培技術の習得	・過リン酸石灰施用による増収、品質 向上の検討	
□□□□□□'				・中玉トマトの栽培技術の習得	・水平放任栽培による収量増加の検 討	
○-----□□				・イチゴの高設栽培技術の習得	・カタツムリポットでの育苗培土の検 討	
□□□□□□'				・ミニトマトの栽培技術の習得	・省力化を目指した誘引方法の検討	
○-----□□				・イチゴの高設栽培技術の習得	・恋みのりでの収量・品質向上を目 指した摘花方法の検討	
○-----□□				・イチゴの高設栽培技術の習得	・二酸化炭素株元施用による収量及 び品質向上の検討	
□□□□□□□				・ナスの露地栽培技術の習得	・とげなし千両二号の増施による樹 勢強化の検討	
□□				・有機無農薬栽培の基礎技術の 習得		
□□□□□□□□-----				・アスパラガス栽培の基礎技術 の習得		
△-----○-----				・タマネギの栽培技術の習得	・省力化を目指したタマネギ直播栽 培の検討	
-----□□				・スイートコーンの栽培技術の習得	・スイートコーンの発芽率向上及び収 穫後品質低下抑制方法の検討	

ウ 花きコース

指導 の 重点 と 到達 目標	1年生	1 主要花きの基礎的な栽培技術や施設管理を習得する。 栽培技術:は種、育苗、ほ場準備、定植、かん水管理、温度管理、病害虫防除、収穫、出荷調整、灌水施肥同時施肥 施設管理:被覆資材の保守・張替、暖房機の保守点検、防除機やトラクター、土壌消毒機等、管理用機械の使用法の 2 主要花きの基礎的な栽培に関する知識を習得することにより、観察力や栽培管理に関する問題意識を持たせ、2年へ 行う。								
	2年生	1 プロジェクト課題は各自の問題意識に基づいて設定し、各品目や目的に応じた栽培管理、調査、結果の取りまとめを 主体的に樹立するとともに、栽培管理及び施設管理を担当し、担当品目について専門的な知識と技術を習得する。 2 プロジェクト課題をふまえた経営分析を行い、経営計画を樹立する。								
番号	ほ場	作 目	1	2	3	4	5	6	7	8
20	ガラスハウス 98㎡	ポットカーネーション	☆			□ □ □				
		花壇苗		△ ~ △	☆ ~ ☆	□ □				
21	ガラスハウス 98㎡	ラークスパー			×	□ □ □			△ ~ ~ ☆	
22	ガラスハウス 98㎡	カーネーション	□ □ □	□ □ □	□ □ □	□ □ □	□	○	×	×
23	ガラスハウス 99㎡	シクラメン ガーデンシクラメン	~ △ ~	~ ~ ~	~ ~ ☆			☆		
24	育苗温室 104㎡	花壇苗・鉢物等	~ ~ ~	△ ~ ~	~ ~ ~	~ ~ ~	~ ~ ~	~ ~ ~	~ ~ ~	~ ~ ~
25	組織培養 順化室 90㎡	キク、カーネーション等	---	---	---	☆	□ □ □			
		各品目育苗	△ ~ ~	~ ~ ~	~ ~ ~	~ ~ ~	~ ~ ~	~ ~ ~	~ ~ ~	~ ~ ~
26	ガラスハウス 241㎡	スプレーバラ	□ □ □	□ □ □	□ □ □	○		▼	▼	
27	ガラスハウス 201㎡	スタンダードバラ	□ □ □	□ □ □	□ □ □	○		▼		▼
28	硬質プラス チックハウス 103㎡	花壇苗(春出荷) (夏~秋出荷) (秋~冬出荷)	△ ~ ☆			□ □ □		□ □	△ ~ ~ ☆	△
29-1	ビニルハウス 133㎡	スイートピー	□ □ □	□ □ □	□ □ □	□			△ ~ ~ ~	
29-2	ビニルハウス 130㎡	ストック 宿根かすみ草		□ □ □	□ □ □	□ □ □		□ □ □	×	
30	硬質プラス チックハウス 300㎡	ブプレウラム 秋ギク(電照)	△ ~ ○		□ □ □		□ □ □		◇ ~ ○ ×	
31	冷房育苗 ハウス 39㎡	ラークスパー ハボタン パンジー							△ ~ ~ ~	
33	ビニルハウス 66㎡	小ギク				◇ ~ ○ ×			□ □ □	
42	露地 100㎡	小ギク					◇ ~ ○ ×			
43	露地 100㎡	リンドウ 花壇苗等露地花き			△ ~ ~ ~	~ ~ ○		□ □	□ □ □	

凡例 △:は種or発芽、~:育苗、◇:挿し芽、&:接ぎ木、●:移植、▼:摘蕾、○:定植、☆:鉢上げor鉢替え、×:摘心、□:収穫 ◀

3等、基本技術の習得 の習得 欠の個別プロジェクトの課題設定を				演習計画 1 プロジェクト課題品目の特性や栽培上の問題点の調査 2 栽培計画及び調査課題の設定 3 病害虫診断と対策 4 生産、消費の動向、市場調査 5 調査結果の取りまとめ、分析方法の研究 6 プロジェクト発表の準備	
行う。また、栽培計画や調査計画を					
9	10	11	12	ねらい	研究課題
	☆			・ポットカーネーションの生産技術の習得	・電照を用いた鉢物カーネーションの栽培
□ □ □				・パンジー、ペチュニア等花壇苗生産技術の習得	・灌水、施肥方法や温度管理の検討
△	○	×		・ラークスパーの切り花生産技術の習得	・新たな発芽方法の検討
	□ □ □	□ □ □	□ □ □	・カーネーションの切り花生産技術の習得	・LED照射による栽培技術の検討
		□ □	△ ~	・シクラメンの高品質生産技術の習得	・新たな培土による安定生産技術の検討
~ ~ ~	~ ~ ~	~ ~ ~	~ ~ ~	・は種倍土、育苗倍土の生産技術の習得	・発芽、育苗に適した培土の検討
			☆	・組織培養苗の順化技術の習得 ・各品目繁殖方法の習得	・組織培養苗の順化中の管理方法の習得 ・種子繁殖、栄養繁殖苗の管理方法の習得
□ □ □	□ □ □	□ □ □	□ □ □	・スプレーバラの高品質生産技術の習得	・バラ栽培におけるCO ₂ 施用効果の検討
□ □ □	□ □ □	□ □ □	□ □ □	・スタンダードバラの高品質生産技術の習得	・UV-B照射がバラのハダニ類・うどんこ病発生に及ぼす影響の検討
□ □ □	□ □ □	□ □ □	□ □ □	・花壇苗生産技術の習得	・高品質な苗の生産技術の検討
○		□ □ □	□ □ □	・スイートピーの栽培技術の習得	・安定した採種の検討
△		○		・ストックの栽培技術の習得	・八重鑑別技術の習得
	□ □ □			・宿根かすみ草の管理作業の習得	・摘心時期の検討
	△ ~	~ ○		・ブプレウラムの栽培技術の習得	・安定生産技術の検討
			□ □	・キクの電照栽培技術の習得	・電照による開花調節技術の検討
~ ~ ~				・冷房育苗技術の習得	・苗の安定生産技術の検討
				・小ギク8月出荷における病害虫防除及び栽培技術の習得	・高温による開花遅延抑制技術の検討
□ □ □				・小ギク9月出荷における病害虫防除及び栽培技術の習得	・同一品種による9月出荷作型の検討
□ □ □				・リンドウ栽培技術の習得	・極早生品種の生育促進の検討 ・高温障害回避技術の検討
				・露地花き品目の栽培技術の習得	・灌水方法や植栽密度の検討

▶: 冷蔵

エ 畜産課程(和牛コース)

学年		1年生																			
指導の重点と到達目標	本校	1 飼料作物の栽培管理及び収穫調製技術を習得する。 2 家畜市場等を調査する。 3 先進農家を視察研修する。 4 農業機械の基本的な運転技術を習得する。												1 家畜の飼養管理技術を習得(分校実 2 プロジェクト課題を設定する。 3 プロジェクト調査結果をとりまとめる。							
	分校等	1 家畜の飼養管理技術を習得(分校実習)する。 2 より実践的な飼養管理技術を習得(校外実習)する。												1 家畜の飼養管理を行う。 2 飼料作物生産、調製、貯蔵、利用技 3 家畜市場等を調査する。 4 先進農家を視察研修する。 5 プロジェクト調査研究を行う。 6 各種資格を取得する。 (家畜人工授精師、2級削蹄師、家畜							
作 目		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8			
飼料作物	冬作 (イタリアンライグラス)		□																		
	夏作 (トウモロコシ)			○		□															
	夏作 (スーダングラス等)				○		□														
	いも類		○				□														
家畜管理・二年次	繁殖管理																↔				
	哺育・育成管理																↔				
	肥育家畜管理																				
	種雄家畜管理																				
	畜産環境保全																	←-----			
	飼料作物管理																↔				
	校外実習																	↔			

凡例 ○:は種・定植、□:収穫

2年生								演 習 計 画 1 飼料作物の乾草調製 2 家畜の一般管理 3 畜産環境保全及び堆肥化 4 プロジェクト課題の設定 5 プロジェクト調査・研究 6 プロジェクト調査結果の取りまとめ、発表演習 7 家畜の審査 8 畜産物の流通・市場動向調査	
習)する。				1 プロジェクト課題を取りまとめる。 2 卒業論文を取りまとめる。					
術を習得する。									
畜商)									
3	9	10	11	12	1	2	3	ねらい	研究課題
		○						・飼料作物の栽培体型 ・堆肥を利用した施肥設計 ・サイレージ、乾草調製技術の習得	・飼料作物別の施肥設計の検討 ・サイレージ化に合った刈取適期の検討 ・乾草生産と生産歩留まりの検討 ・飼料作物品種比較 ・牧野の害草防除及び病害虫の防除技術の検討
								・繁殖家畜の飼養管理技術の習得	・種付適期と人工授精
								・哺育・育成牛の飼養管理技術の習得	・若齢家畜の発育と育成技術
		↔						・肥育家畜の飼養管理技術の習得	・家畜の交配と肉質 ・家畜肥育管理
		↔						・種雄家畜の飼養管理技術の習得	・種雄牛の改良 ・精液検査
		→						・畜産環境保全及び堆肥生産技術の習得	・家畜ふん尿処理及び利用
								・飼料作物の栽培管理・技術の習得	・飼料作物の品質とその特徴
	↔							・より実践的な飼養管理技術を学ぶ	・先進農家の実態と経営

オ 作物(共通)

内 容			1	2	3	4	5	6	7	8
指導の重点と到達目標	1・2年生	1 水稻の栽培体系及び栽培技術を習得する。	排水対策 土 作 り			は育種管理 耕代か起 機械移 施除植 肥草			病虫害防除 水 管 理	
作目			1	2	3	4	5	6	7	8
水 稲		機械移植(223. 5a) (品種:ヒノヒカリ) (品種:アケボノ)	△-----○----- △-----○-----							

凡例 △:は種 ○:移植 □:収穫

(6) 総括学習

指導の重点と到達目標	1 地域の農業環境条件の特性と営農状況との関係を理解する。		[農業経営計画の作成] 1 我が家(地域)の農業経営の実態と問題点を把握する。							
	2 合理的な農業経営に関する知識・技術について理解する。		2 農業経営改善計画の作成方法・手法を理解する。 (1)経営目標と経営条件 (2)作目編成と作目規模 (3)部門計画、全体計画							
	3 経営改善、地域農業振興の方法、手順について学習する。		3 パソコンを利用して経営実態や経営計画のとりまとめを行う。							
総括学習(卒業論文)	項 目	1 「私の農業経営計画」の作成(2年生) 2 プロジェクト研究(2年生)	1	2	3	4	5	6	7	8
	内 容	●農業経営計画 ○プロジェクト学習	●----- ○-----							
			○プロジェクト計画立案			○プロジェクト計画発表	●経営計画作成準備	○プロジェクト中間発表	○プロジェクト中間発表	○プロジェクト中間発表

9	10	11	12	1	2	3	
	収 穫		耕 起				(実習内容) 1 自動は種機による籾のは種作業(1年生) 2 乗用田植機による移植作業(2年生) 3 自脱型コンバインによる収穫作業(2年生)
9	10	11	12	1	2	3	ねらい
-----□□ -----□□							日本農業の基幹をなす水稻栽培を通じ、田植や収穫等の機械化省力化体系を習得

う。 [プロジェクト研究] 1 課題の選定:農業経営の実態と問題点を把握する。 2 問題解決の方法:問題の発生原因の考察、解決の方法・手順の検討、計画の樹立を行う。 3 プロジェクト研究:栽培等―調査―分析を行う。 4 研究成果のとりまとめ:調査結果、分析資料の整理とりまとめと考察を行う。								
9	10	11	12	1	2	3	ねらい	研究課題
-----●-----●-----● -----○ ○プロジェクト中間発表 ●経営計画作成準備 ○プロジェクト中間発表 ○プロジェクト実績発表 ●経営計画作成 ●経営計画完成							1 農業経営の現況と問題点の理解 2 経営改善、地域農業振興の方法、手順の理解 3 プロジェクト研究の意義と方法、手順の理解 4 調査、分析診断、計画・整理の理解、能力の養成	1 学習成果の点検(復習)、補完学習の必要な科目事項の整理 2 地域農業や我が家の農業経営に関する問題点の分析、実践計画の作成 3 資料作成、発表方法の習得

(7) 免許・資格の取得

◆在学中に次の免許・資格を取得する機会が与えられる。

◆それぞれ事前に受験のための講習会、研修会等を実施する。

免許・資格等	対 象	試験日等
刈払機取扱作業安全衛生教育修了者	1年次	4月
危険物取扱者乙種第4類免状		6月、10月、2月
フラワー装飾技能士(2・3級)		7月、12月
日本農業技術検定(1・2級)合格者		7月、12月
農業簿記検定(1～3級)合格者		7月、11月
狩猟免許(わな猟)		7月～11月
小型車両系建設機械運転特別教育修了者		7月中旬
毒物劇物取扱者合格者		10～11月
大型特殊自動車免許(農耕車限定)		9月
けん引免許(農耕車限定)		11月
フォークリフト運転技能講習修了者	1年次、2年次	3月上旬
アーク溶接等特別教育修了者		2月中旬
家畜人工授精師免許		11月下旬～12月下旬
2級認定牛削蹄師		11月下旬
家畜商免許		2月(2年に1回)
	2年次	
	1年次	
	1年又は2年次	
	畜産課程	

6 学習評価基準

各授業科目の評価は、校則第20条及び第21条の規定によるほか、次に掲げるとおりとする。

(1) 各授業科目の考查を受ける資格は、講義・演習・実験・実技においては出席時数が授業時間の70%以上、実習においては90%以上とする。

なお、正当な理由がなく遅刻、早退した場合は、3回について1回の欠席と見なす。

(2) 評価は100点法により考查60点以上の考查結果を合格とし、60点未満は不合格とする。

(3) 講義科目の試験は、各授業科目の定められた所定の授業時間が終了した後、随時行う。

(4) 講義等において、学生心得、届出及び許可等に関する規程第9～12条により校長へ届出をした者で、校長が特にやむを得ないと認めた者については、出席時数が不足している場合でも評価の対象とする。

(5) その他(単位数)

本校は学年制であり、単位制ではないが、単位の互換性等を考慮して、単位の取得を以下のとおり定める。

①講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で1単位とする。

②実験、実習、実技については、30時間から45時間までの範囲で1単位とする。

7 教育・寮生活日課表

時 刻	日 課	摘 要
7:00	起 床	○授業内容は都合により直前に変更する 場合がある。 ○寮集会室、談話室の使用は原則22時 までとする。 ○清掃以外の理由による、22時以降 の離室は原則禁止とする。
7:20	朝 点 呼	
7:20～ 8:00	授 業 準 備	
8:00～ 8:45	朝 食	
8:50～10:20	授 業 ①	
10:20～10:30	休 憩	
10:30～12:00	授 業 ②	
12:00～13:00	昼 食	
13:00～14:30	授 業 ③	
14:30～14:40	休 憩	
14:40～16:10	授 業 ④	
16:10～22:00	自 習 ・ 寮 自 治 会 ・ 学 生 自 治 会 活 動	
17:00～19:00	夕 食	
17:00～21:45	入 浴	
22:00	門 限 ・ 夜 点 呼	
22:05～22:25	清 掃 (月 曜 日 の み)	
23:00	消 灯 (就 寝)	

8 先進農家留学研修実施要領

(1) 目 的

県内の先進農家等の優れた経営の中で、農作業や生活を体験し、経営者の知識、技術や経営感覚、さらには人間性を肌で感じることにより、自らの実践力の向上や人間的な成長につなげるとともに、将来の営農計画の糧とする。

(2) 実施主体

岡山県農林水産総合センター農業大学校

(3) 対象学年及び実施期間等

対象学年	実施期間	実施時期		
		前 期	6 月 10 日(月) ～ 6 月 28 日(金)	〈19 日〉
1 年生	3 0 日	後 期	9 月 24 日(火) ～ 10 月 4 日(金)	〈11 日〉

原則として前期・後期とも同一農家とする。

(4) 研 修 先

農業士及び農業経営や技術の優れた先進農家、法人等とし、農業普及指導センター（畜産の場合は農畜産物生産課（以下、農業普及指導センター等とする））の協力を得て選定する。

(5) 研修期間中における指導

ア 学生は研修期間中、受入農家の一員としてその経営に従事し働きながら学ぶ。

イ 受入農家は、学生の学習計画について研修地の農業普及指導センター等及び農業大学校と協議し、計画的な学習指導を行う。

ウ 学生による農耕車両（トラクター、耕耘機、テラー等）の運転は、ほ場内に限る。学生による自動車（軽四トラック等）の運転は認めない。

エ 受入農家は、期間中、学生の病気及び作業事故等の防止、特に農業機械等の取扱いには十分注意し、万一事故が発生した場合は、直ちに農業大学校及び農業普及指導センター等に連絡する。

オ 農業大学校及び農業普及指導センター等は期間中に適宜巡回し、指導を行う。

(6) 経 費

農業大学校運営費とする。

(7) 学生の研修報告書の提出

学生は、研修終了後 10 日以内に、別に定める報告様式により校長に研修報告書を提出する。

(8) そ の 他

学生の受入農家への交通手段は、原則として公共交通機関を利用するものとし、自家用車を利用する場合は、自動車等使用許可願を提出し、校長の許可を得る。

9 令和6年度応用技術研修等計画

農業技術の近代化・専門化・多様化に伴い、営農に関する知識、技術、資格は就農に必要な不可欠となっている。このため、地域農業の担い手を養成する観点から、学生のみならず新規参入者を含む農業者も対象として、先進的な農業を営む上で必要な機械操作等の習得に係る応用技術研修を実施するものとし、あわせて営農に関する知識等についての特別講義ほかを実施する(5ページ(3)イ参照)。その内容は下表のとおりとする。

※下表中「(1)取得可能な免許又は資格」については、所定の講習等終了後又は試験合格後に、別途登録申請等を要する場合がある。

研修等科目	(1) 取得可能な免許又は資格※ (2) 研修内容	(3)研修会場 (4)試験会場	(5) 研修期間 (6) 試験日	対象・ 人員	講師 (主催)
小型車両系建設機械運転特別教育研修	(1) 小型車両系建設機械運転特別教育修了者 (2) 機体重量3トン未満のパワーショベル等の操作技術、機械の取扱い及び関連法規の講義	(3) 大学校 (4) なし	(5) 7/11～12(2日間) (6) なし	学生及び農業者40名程度	(株)岡山技能講習センター
大特車(トラクター)運転技術研修	(1) 大型特殊自動車免許(農耕車限定) (2) 農耕用トラクターの公道運転技術の習得	(3) 大学校 (4) 県運転免許センター	(5) 8/16～9/4 (6) 9/6～11 (通算7日間)	学生及び農業者45名程度	(株)岡山技能講習センター
大特車(けん引)運転技術研修	(1) けん引免許(農耕車限定) (2) 農耕用トラクターの公道でのけん引運転技術の習得	(3) 大学校 (4) 県運転免許センター	(5) 10/16～30 (6) 11/1～15 (通算6日間)	学生及び農業者30名程度	(株)岡山技能講習センター
アーク溶接特別教育研修	(1) アーク溶接特別教育修了者 (2) アーク溶接機械の取扱い、アーク溶接実技及び関連法規の講義	(3) 大学校 (4) なし	(5) 2/14～20(4日間) (6) なし	学生及び農業者40名程度	(一社)岡山県労働基準協会
フォークリフト運転技能講習	(1) フォークリフト運転技能講習修了者 (2) 最大荷重1トン以上のフォークリフトの取扱い、関連法規の講義・試験及び実技試験	(3) 大学校 (4) 大学校	(5) 2/28～3/11 (6) 3/3学科 3/6・11実技 (通算5日間)	学生及び農業者40名程度	(一社)岡山県労働基準協会
2級認定牛削蹄師認定講習	(1) 2級認定牛削蹄師 (2) 削蹄に関する基礎知識及び実技の習得	(3) 酪農大学校 (4) 酪農大学校	(5)(6) 11月下旬(予定)	学生(畜産課程)	(公)日本装削蹄協会
家畜人工授精師講習	(1) 家畜人工授精師免許 (2) 畜産概論等講義及び家畜の飼養管理ほか実習	(3) 酪農大学校 (4) 酪農大学校	(5)(6)11/22～12/20(予定)	学生(畜産課程)	酪農大学校職員等
家畜商免許研修	(1) 家畜商免許 (2) 家畜の取引に関する法令、家畜畜の品種及び特徴等の講義	(3)(4) 県外(場所未定)	(5)(6) 2月上旬(未定)	学生(畜産課程)	未定
刈払機取扱作業安全衛生教育(農業基礎の講義)	(1) 刈払機取扱作業安全教育修了者 (2) 刈払機作業の安全性確保及び作業に対する振動障害の防止	(3) 大学校 (4) なし	(5) 4/12 (6) なし	学生	ロイヤルパワーアップスクール福山校
毒物劇物取扱者(応用化学Ⅰの講義)	(1) 毒物劇物取扱者合格者 (2) 毒物・劇物に関する法規、基礎化学、毒物劇物の性状及び取扱方法	(3) 大学校 (4) 県内会場	(5) 7～9月(5日) (6) 10～11月	学生	農大
危険物取扱者(応用化学Ⅱの講義)	(1) 危険物取扱者乙種第4類免状 (2) 危険物に関する法規、基礎化学、消火方法等の習得	(3) 大学校 (4) 県内会場	(5) 12～1月(5日間) (6) 6/23 10/27 2/9	学生	農大
狩猟免許(わな猟)特別講義	(1) 狩猟免許(わな猟) (2) 狩猟について必要な知識の講義及びわな猟の技能の習得	(3) 大学校 (4) 県内会場	(5) 5/10 (6) 7～11月	学生	県職員及びわな猟専門家
フラワー装飾技能士(2・3級)(園芸課程の講義)	(1) フラワー装飾技能士(2・3級) (2) 花束、ブーケの製作及びアレンジメント製作技術等の習得	(3) 大学校 (4) 大学校	(5) 5～6月(5日間+補講) (6) 7, 12月	学生	1級フラワー装飾技能士
日本農業技術検定特別講義	(1) 日本農業技術検定(1・2級)合格者 (2) 1級は農業に関する高度な知識及び技術の習得、2級は農作物の栽培管理の基本の習得	(3) 大学校 (4) 大学校	(5) 7, 12月 (6) 7/6, 12/7	学生	農大
農業簿記検定(農業経営分析論の講義)	(1) 農業簿記検定合格者 (2) 農業簿記についての必要な知識の習得	(3) 大学校 (4) 大学校等	(5) 5月(講義5日間) (6) 7/7 11/24	学生	農林水産総合センター職員

10 令和6年度主要行事予定

行事名		令和6年度	(参考) 令和5年度実績
始業式		4月8日(月)	4月10日(月)
入学式		4月9日(火)	4月10日(月)
新入生オリエンテーション		4月10日(水)	4月11日(火)
プロジェクト計画発表会(2年生)		4月22日(月)	4月25日(火)
農大新鮮市		野菜の日(4/27) 果樹の日(9/7) 花きの日(11/30)	野菜の日(4/22) 果樹の日(9/9) 花きの日(11/25)
プロジェクト中間発表会(2年生)		5月7日(火) 6月4日(火) 7月8日(月) 7月9日(火) 9月3日(火) 9月4日(水) 10月22日(火)	5月16日(火) 6月6日(火) 7月11日(火) 9月5日(火) 10月24日(火)
中国四国ブロック農業大学校長・同窓会 代表者会議		香川県 6月10日(月) ~ 6月11日(火)	広島県 6月12日(月) ~ 6月13日(火)
先進農家留学研修 (1年生)	前 期	6月10日(月) ~ 6月28日(金)	6月12日(月) ~ 6月30日(金)
	後 期	9月24日(火) ~ 10月4日(金)	9月25日(月) ~ 10月6日(金)
アグリ・夢・みらい塾(就農希望者等)		7月22日(月) 三徳園	7月24日(月) 三徳園
オープンキャンパス		6月8日(土) 7月27日(土) 8月24日(土)	6月10日(土) 7月29日(土) 8月26日(土)
中国四国ブロック農業大学校等教務・研 修担当者会議		高知県(日程調整中)	山口県 2月16日(金)
入学試験	推 薦	9月28日(土)	9月30日(土)
	一般前期	11月16日(土)	11月17日(金)
	一般後期	2月8日(土)	2月2日(金)
収穫祭		10月12日(土)	10月14日(土)
中国ブロック農業大学校研修生のつどい		広島県 10月16日(水) ~ 10月17日(木)	山口県 10月19日(木) ~ 10月20日(金)
プロジェクト専攻別実績発表会(2年生)		11月26日(火)	11月29日(水)
プロジェクト実績発表会(2年生)		12月11日(水) ~ 12月12日(木)	12月13日(水) ~ 12月14日(木)
プロジェクト計画発表会(1年生)		11月26日(火)	11月29日(水)
中国四国プロジェクト等発表会・意見発表会		鳥取県 1月16日(木) ~ 1月17日(金)	岡山県 1月18日(木) ~ 1月19日(金)
全国プロジェクト発表会・意見発表会		東京都(日程調整中)	東京都 2月7日(水) ~ 2月9日(金)
卒業式		3月13日(木)	3月14日(木)
定期休業	夏 季	8月1日(木) ~ 8月21日(水)	7月31日(月) ~ 8月20日(日)
	冬 季	12月24日(火) ~ 1月7日(火)	12月24日(日) ~ 1月7日(日)
	春 季	3月19日(水) ~ 4月7日(月)	3月19日(火) ~ 4月7日(日)

1 1 実習施設配置図



野菜コースハウス	No1～15,45,46	3,031㎡
果樹コースハウス	No16～19	2,357㎡
花きコースハウス	No20～33	1,800㎡
野菜コース露地ほ場	No34,35	13a
果樹コース露地ほ場	No36～41	43a
花きコース露地ほ場	No42,43	2a
和牛コース露地ほ場	No44	30a
水田		224a